

登録コード	HM137100	開講年度	2026				
授業題目	健康心理学特論					担当教員	高橋 知音 他
英文授業名	Health Psychology					副担当	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					医学・保健学研究の専門分野近傍の課題である健康心理学において、神経発達症群に関連して新たな知見・技術を生み出すことができるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	ICFや発達障害に関する健康心理学や障害領域における話題提供を教員および受講者が行い、そのテーマについてディスカッションを行う。						
(3)授業の概要/Overview of course	ICFや発達障害に関する健康心理学や障害領域における話題提供を教員および受講者が行い、そのテーマについてディスカッションを行う。						
(4)授業計画/Course plan	第1回：障害を理解する枠組 ICFモデル 第2回：限局性学習症 第3回：ディスレクシア 第4回：読み書き能力のアセスメント 第5回：自閉スペクトラム症 第6回：ASDのアセスメント 第7回：注意欠如・多動症 第8回：ADHDのアセスメント 第9回：コミュニケーション症 第10回：運動症群 第11回：ディスレクシアに関する研究動向 第12回：ASDのある人への支援に関する研究動向 第13回：ADHDのある人への支援に関する研究動向 第14回：SLDのある人への支援に関する研究動向 第15回：健康心理学に関する研究動向についてのまとめ 期末試験の有無 無						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	プレゼンテーション 60% ディスカッションへの参加 40% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可 i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	ICFや発達障害に関する健康心理学や障害領域における文献を読み、話題提供を行う。 話題提供を行う際は、多様な専門分野の受講生がいることを考慮し、専門害の受講者にも理解できるような構成にするとともに、自身の専門分野以外のテーマであっても、積極的にディスカッションに参加する。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	高橋知音研究室（教育学部北校舎） e-mail: tomonet@shinshu-u.ac.jp						
(8)授業の形式/Course format	ICFや発達障害に関する健康心理学や障害領域における話題提供を教員および受講者が行い、そのテーマについてディスカッションを行う。						